

\*\*\* ある日の育児日記から \*\*\*  
 \*\*\* 佐藤 和代 \*\*\*



(6)

佐藤 和代

仕事が休みの日は、圭と近所の公園へ行くのが日課です。圭はこのところ、砂場がお気に入り。いつもさっと砂場に座りこみ、スコップで砂をすくってはこぼし、すくってはこぼし…。

まわりを見れば、同じ位の年齢の子たちが、ブランコからすべり台へ、ジャングルジムへと、ちょこちょこ走り回っています。何となく落ちつかない私。「ね、すべり台いこうか」と誘ってみました。圭はちらっとすべり台を見ただけで、また黙々と砂遊びを始めます。

うーん、これでいいのかしら。幼い子って、

もつと体を動かしたがるものじゃない？

ちょっと性格暗くない？

い？…少し心配になってきた私は、実家の母

に「圭ったらこうなの」と訴えました。

すると母はひとこと。「あなたの小さいときに

そっくりよ！」。

ああ、そうでした。これは心配したって仕方ない、と私は覚悟を決めました。私も活動的な子ではなかったし、「子どもはもつと元気に」なんて

押しつけられるのは迷惑

だったはず。圭も今月で二歳です。そろそろ個性が

はつきりしてきたのだ、確かに私の子だ、と喜ぶことに

しましよう。



圭の保育園のおもちゃはユニーク。遊ばにいくと笑ってしまいます。